

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL (https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

サンワテクノス株式会社

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
TEL.03-5202-4011 FAX.03-5202-4054



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



株式会社プロネクサス 印刷



第74期 中間株主通信

自 2021年4月1日 至 2021年9月30日

サンワテクノス株式会社

証券コード8137



「NEXT 1800」の完遂に向け コロナ禍で再認識した強みに磨きをかける

代表取締役社長 田中 裕之

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染収束が明確に見通せない中で、海外経済の回復に伴う輸出増加や、製造業各社の生産自動化・高度化への設備投資などもあり、景気に持ち直しの動きが出てきました。

当社グループの主力事業分野である産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界では、経済回復が順調な中国を中心に、半導体、FA・産業機器、電子部品などの市場において設備投資が積極的に行われ、当社では半導体などの部材の供給不足による先行受注もあり、全体として高い水準で需要が推移しました。こうした事業環境を背景に、当期は営業利益、経常利益共に前年同期を大幅に上回ることができ、通期連結業績予想も上方修正しています。

また、株主様への還元と資本効率の向上、経営環境の変

化に応じた機動的な資本政策の遂行を目的に、自己株式の取得を実行しました。株主の皆様への中間配当につきましては、日頃のご支援に報いるべく、1株当たり17円の配当を実施いたしました。また期末配当も17円とし、年間配当を34円とさせていただく予定です。

厳しい環境下で証明された 当社の事業領域とSCMの強み

昨年4月に1回目の緊急事態宣言が発出されて以降、業界全体が大変厳しい事業環境に置かれる中で、当社が関連するFA・産業機器分野ではものづくりの省人化と高度化が加速しました。特に生産自動化やロボット化など当社の強みが発揮される事業領域は、今回のような非常事態下での耐性と、危機をチャンスに変えていく適応性が証明されました。当社ではその事業領域のビジネスを積極的に展開することで、昨年度下期に引き続き今期も業績は好調に推移し、想定以上の結果を出すことができたことと分析しています。

ローカル5G(スマートファクトリー化)を含めた多彩なソリューション提案力と、ロボットシステムなど各種自動化設備の立ち上げを遂行するエンジニアリング力は、その事業領域における当社の付加価値です。また、face to faceのサービスとリモート対応を組み合わせた「スマート営業所」の展開も、当社の事業領域の強みに磨きをかける施策です。顧客密着という当社の営業姿勢がお客様から高く評価されており、年内は金沢(石川県)に続いて北九州(福岡県)にも開設予定です。

もう一つ、今回の非常時対応から見えた当社の強みはグローバルSCMの基盤とノウハウです。コロナ禍でのロックダウンや長期化する米中貿易摩擦など国際政治情勢の変化により、例えば韓国・台湾が半導体を生産して中国で製品化するという、世界における従来の分業生産体制のネットワーク、サプライチェーンが機能不全となり、今はまさに変革期にあります。その中で当社では、今年4月に再編したグローバルSCMソリューション部を中心に、製造拠点移管や海外現地での調達サポートを国内外の垣根なく包括的に実行する、独自のグローバル事業を展開しています。現在、部品や製品の早期調達が難しい中で当社への先行受注が増えているのも、従来から取り組んできた物流システムの高度化とSCMサービス力向上の結果です。

今後も、技術商社として長年実績を積んできたFA分野における生産自動化へのソリューション提供や、物流基盤を活かしたサプライチェーンの整流化を使命として、当社の強みに一層磨きをかけていきます。



今年10月に開設した金沢営業所(スマート営業所)の開所式と執務風景

カーボンニュートラルがもたらす 新たな世界・市場を切り拓く

現在、社会の様々な分野でコロナ禍からの立ち上がりが見られますが、過去の姿に戻るのではなく、従来の常識を超えた、以前とは異なる景色、世界が見えてきています。当社でも従来からのIT投資が奏功し、早期にリモートワークやオンライン会議、Web監査などIT基盤の利活用が進み、生産性と仕事の質の向上だけでなく、社員の働き方やライフスタイルも大きく変化しています。

さらに昨年10月、菅義偉前首相による「2050年カーボンニュートラル宣言(※1)」の公表後、先頃のCOP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)までの流れを見てもわかる通り、現在、世界は脱炭素社会の実現へと大きく舵を切っています。当社では長年、インバータやLED照明などの省エネ機器・設備の拡販に注力してきましたが、今やコスト(cost)ではないマスト(must)の必須課題として取り組まなければならないテーマです。これも世の中のニーズと景色を大きく変える要因であり、今後はシーズ(生産者視点)とニーズ(消費者視点)の変化に伴ってサプライチェーンのあり方も変容していくと考えています。

当社ではここ数年、新物流システム(倉庫管理システム/WMS)による物流コストの見える化を皮切りに、お取引先様と連携して配送効率化に取り組んできました。今後は物流コストが上昇し続ける環境下でのコスト競争力向上とともに、脱炭素化の観点から積載率向上による配送回数の低減などを積極的に推進していきます。また、今年4月にスタートした「SDGs(※2)推進委員会」による全社での活動とあわせて、カーボンニュートラルをテーマに最新の技術を紹介する「サンワテクニカルセミナー'21(オンライン開催)」や社内キャンペーン「サンワグループアワード2021」を実施し

ました。アワードの営業部門では、再生可能エネルギー（太陽光発電）や省エネ機器（センサ）など脱炭素ビジネスの発掘も進んでいます。さらに日々の業務において、年間で帳票100万枚以上、CO₂換算で7トン分のペーパーレス化を実行するなど、今後もイノベーション（新たな価値創造）と地道な取り組みの積み重ねで、脱炭素化に貢献していきたいと考えています。

※1 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを指すもの。

※2 国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に明記された2030年までの国際目標。

社会性と収益性の両面から サステナビリティを追求する

当社では、「NEXT 1800」の最終年度として「グレートリカバリー（大回復）に向けた新たな挑戦」をスローガンに、コロナ禍の克服とニューノーマル市場の獲得や、DX（デジタ



「サンワグループアワード2021」営業部門（脱炭素ビジネス）の表彰式

ルトランスフォーメーション）（※3）を活用した戦略の構築とその実施体制の完成、既存ビジネスの深耕による確実な成果のアウトプットと新規ビジネスの開拓、事業ポートフォリオの見直しを重点施策として、計画完遂を目指しています。これらの施策は、コロナ禍を通して確信した当社の強みである「事業領域」と「グローバルSCM」に磨きをかけることで、おのずと結果がついてくると考えています。

一方、来年度から始動する「第11次中期経営計画」については、「ビジョン・中期経営計画策定委員会」での環境分析と計画立案を経て、現在策定の最終段階です。策定プロセスは従来のプロジェクト体制ではなく、今年6月に発足した「経営戦略室」に情報とノウハウが永続的に蓄積される組織体制で進めています。今後大きく変わる世界を想定して、可能性と夢のある長期戦略を付加することで、「サンワビジョン2025」へのロードマップを描きたいと思います。

当社では、引き続き企業価値の拡大と営業力の強化、健全な財務体質を維持しながら資本効率の向上を図り、社会性と収益性を兼ね備えたサステナビリティ（持続可能性）を追求していきます。今後も株主様への安定配当の継続を目指してまいりますので、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※3 企業がデータやデジタル技術を活用し、組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えること。

第10次中期経営計画（2019年度～2021年度）

NEXT 1800

サンワビジョン 2025

明るい未来を創る サンワテクノスグループ



2019年度 創立70周年のその先へ

独立系技術商社として進化を続け、成長を加速させます

◆方針

- コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する
- グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする
- 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する
- 持続可能な社会の実現への取り組み

◆実績及び経営目標数値

	2019年度実績	2020年度実績	2021年度
売上高	137,943	134,769	180,000
営業利益	1,846	2,152	4,800
営業利益率	1.3%	1.6%	2.7%
経常利益	2,144	2,567	5,000
経常利益率	1.6%	1.9%	2.8%

◆進捗

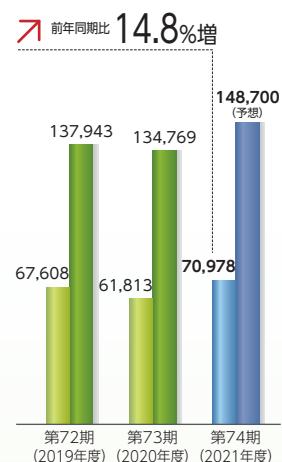


売上高

709億78百万円

前年同期比 91億65百万円増

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末

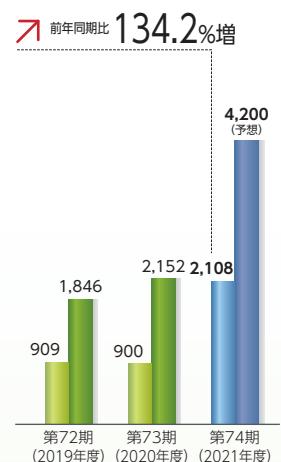


営業利益

21億8百万円

前年同期比 12億8百万円増

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末

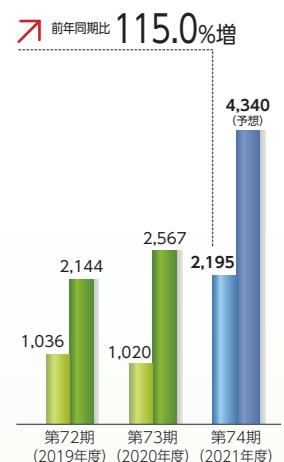


経常利益

21億95百万円

前年同期比 11億74百万円増

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末

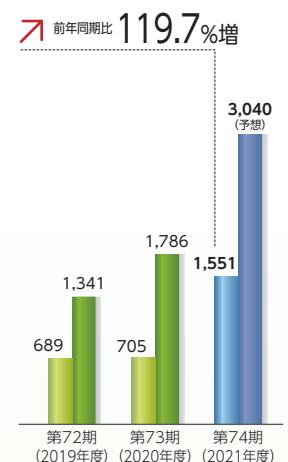


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

15億51百万円

前年同期比 8億45百万円増

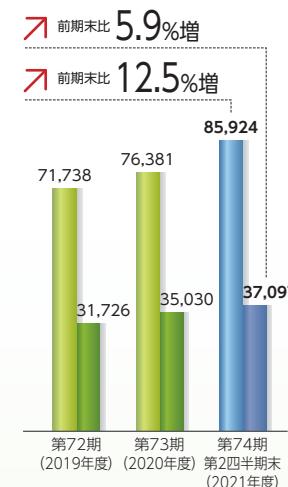
■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末



総資産／純資産

総資産	859億24百万円
純資産	370億97百万円
総資産前期末比	95億43百万円増
純資産前期末比	20億66百万円増

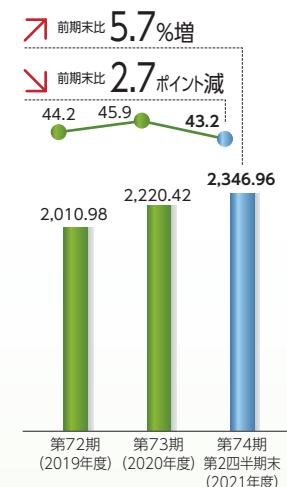
■ 総資産 (単位:百万円)
■ 純資産



1株当たり純資産／自己資本比率

1株当たり純資産 2,346円96銭
自己資本比率 43.2%

■ 1株当たり純資産 (単位:円)
● 自己資本比率 (単位:%)

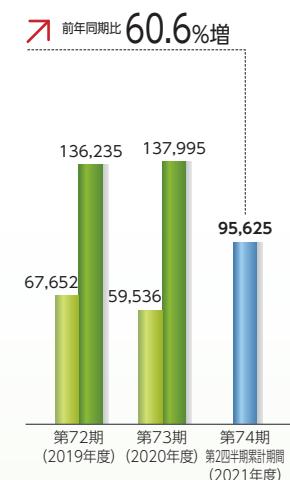


受注高

956億25百万円

前年同期比 360億89百万円増

■ 第2四半期累計期間 (単位:百万円)
■ 期末

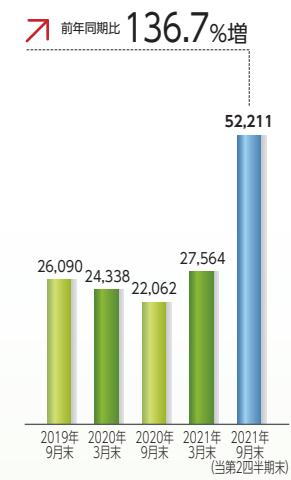


受注残高

522億11百万円

前年同期比 301億49百万円増

■ 第2四半期末 (単位:百万円)
■ 期末



決算ハイライト

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなかで、断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、依然として企業活動、経済活動が抑制される状況が継続されました。一方で、海外経済の回復に伴う輸出の増加や、製造業各社の生産の自動化・高度化への設備投資が積極的に行われたことなどを背景に、景気は持ち直しの動きが続いております。世界経済については、先進国を中心にワクチン接種が進み、中国では好調な輸出を背景に製造業を中心とした景気の回復が継続していましたが、回復ペースはやや鈍い

たしました。欧米では経済活動の制限が段階的に緩和され、景気の回復傾向は維持されております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、半導体関連・自動車関連・電子部品などの市場において設備投資が積極的に行われました。また、半導体をはじめとする部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配などもあり、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期を上回る結果となりました。

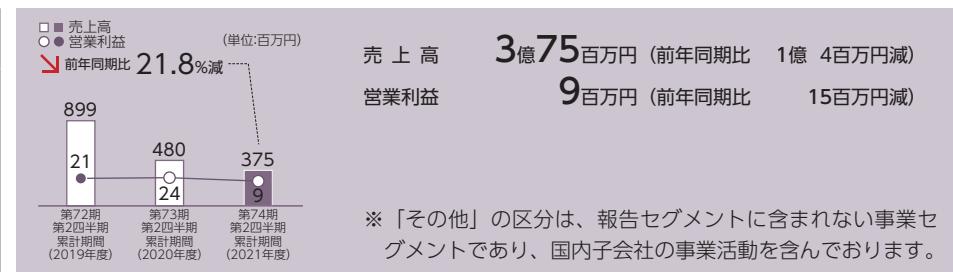
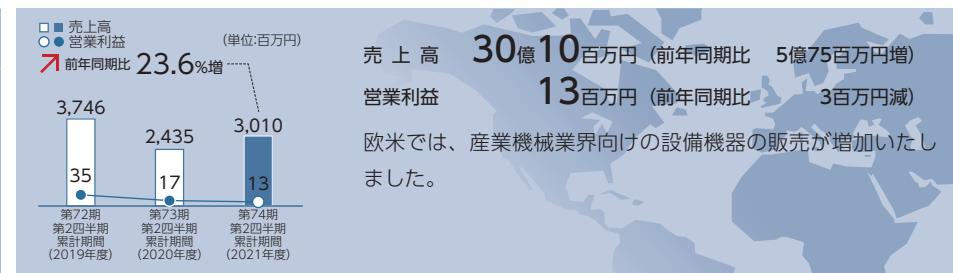
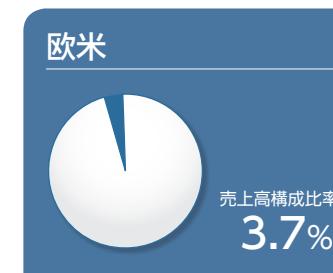
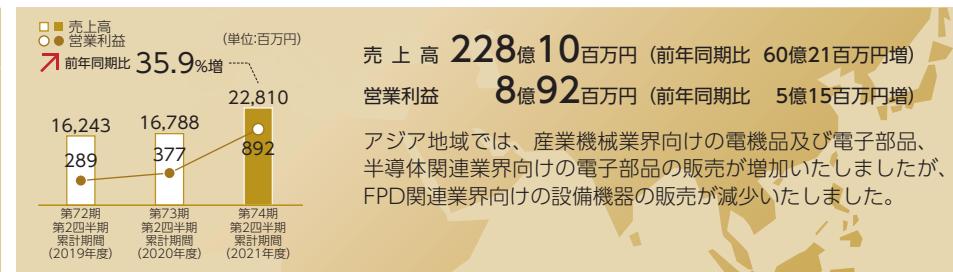
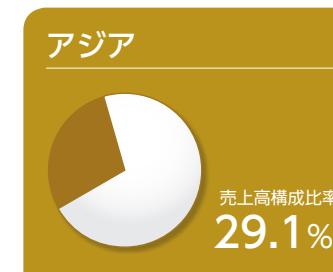
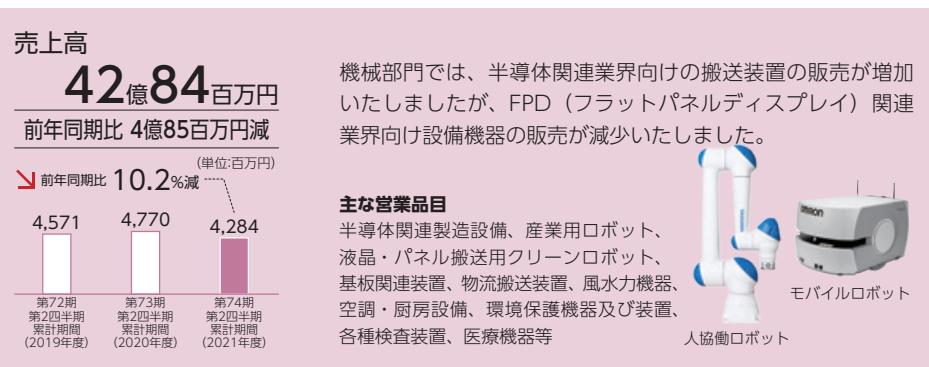
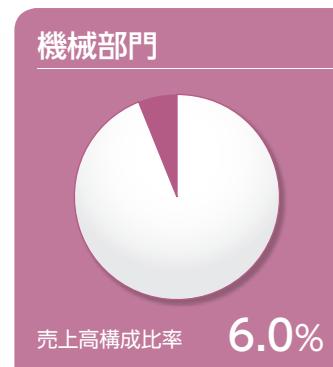
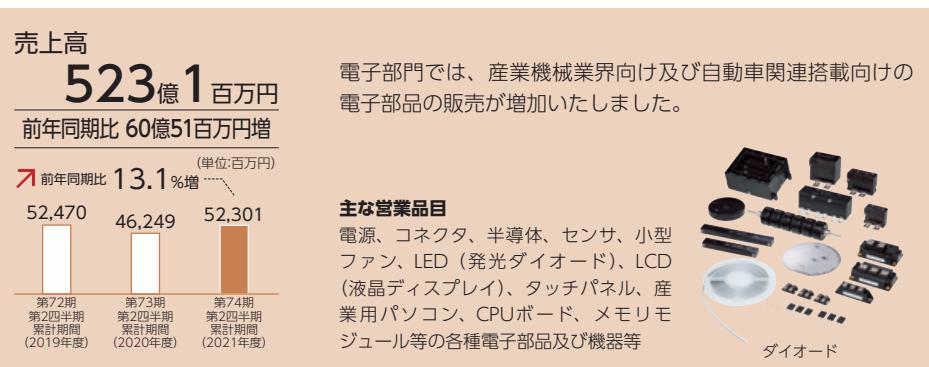
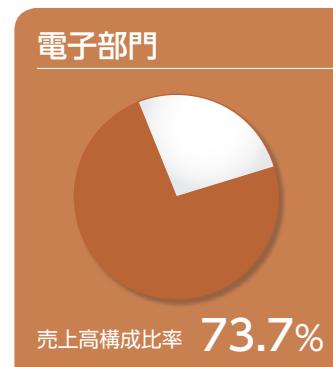
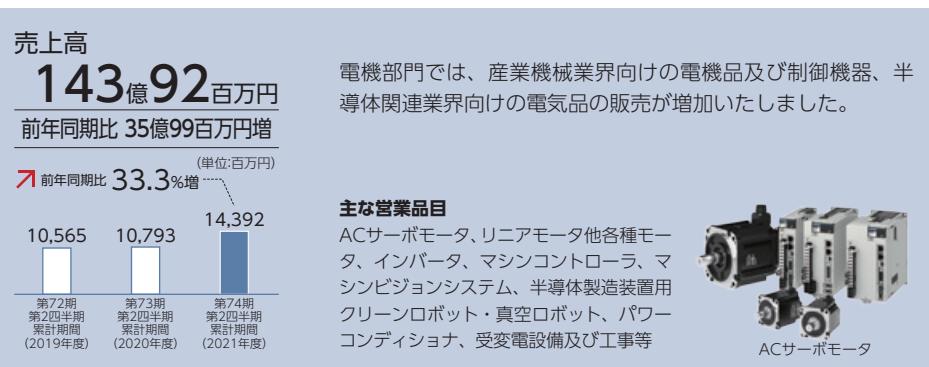
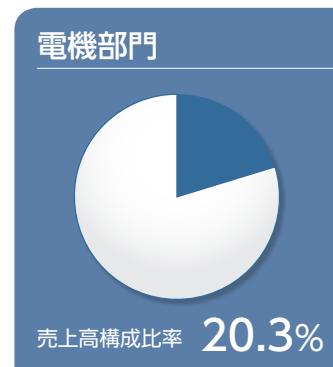
通期の見通し

通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響や半導体をはじめとする部材の供給不足など、依然不透明な状況が続くことが予想されますが、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の市場環境の動向などを踏まえて、2021年5月7日に公表した通期連結業績予想を右記の通り修正いたしました。

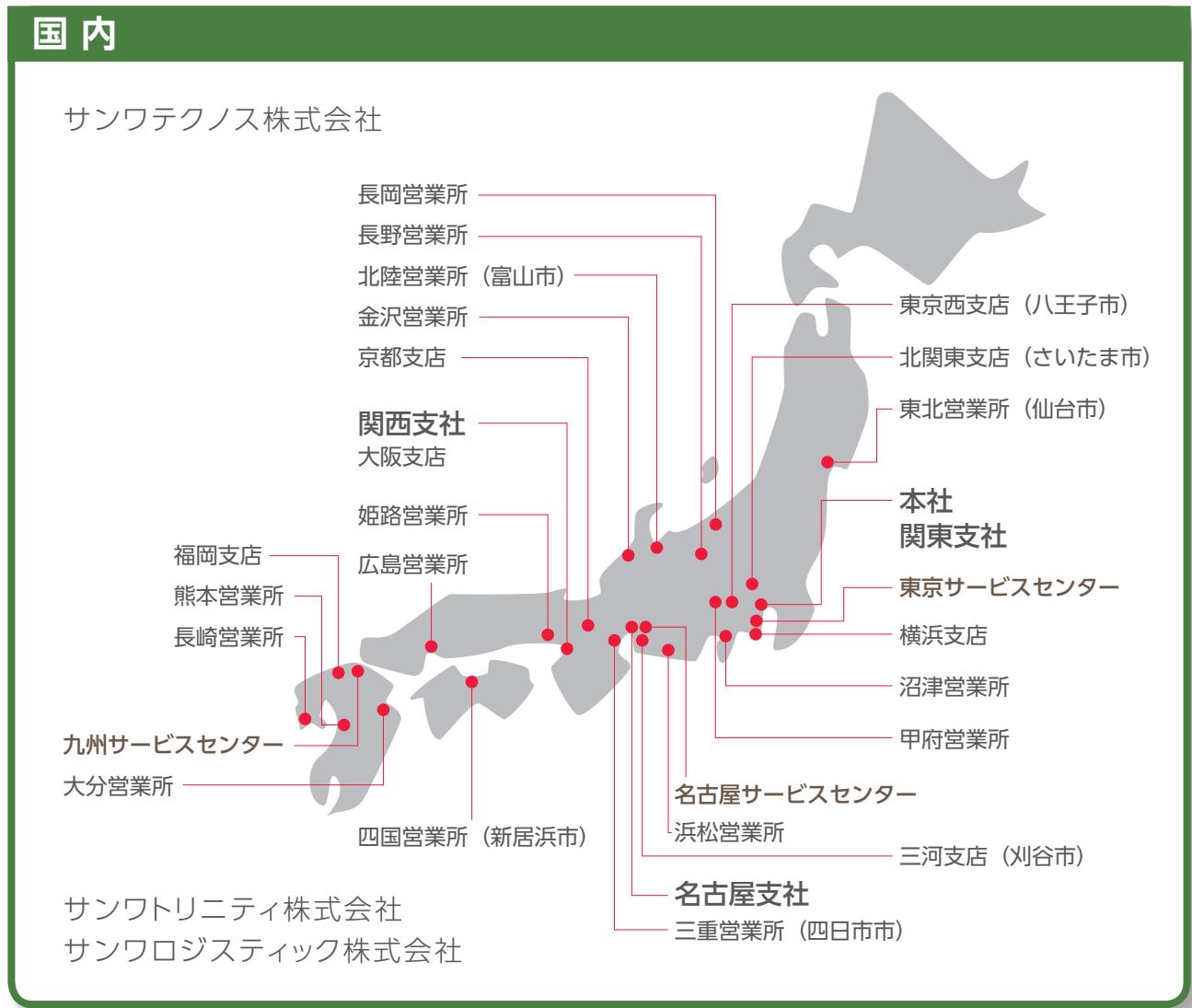
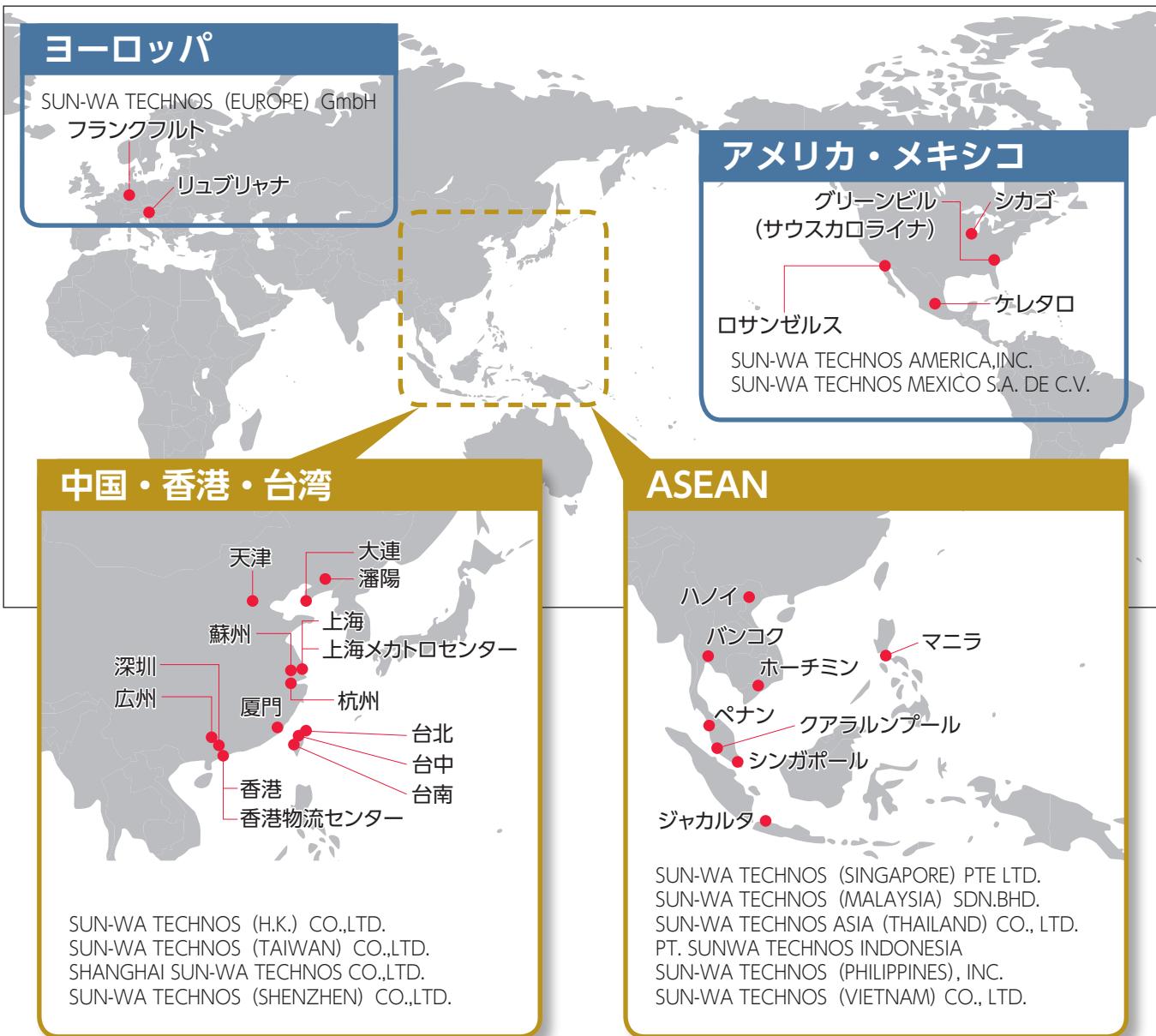
第74期 通期業績予想

売上高	148,700百万円 (前年同期比10.3%増)
営業利益	4,200百万円 (前年同期比95.1%増)
経常利益	4,340百万円 (前年同期比69.0%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,040百万円 (前年同期比70.2%増)
1株当たり当期純利益	192円51銭

(注) 業績予想につきましては、2021年10月29日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。



(注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
(注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。



各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「拠点」をご覧ください。

<https://www.sunwa.co.jp/>

サンワテクノス 検索

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目/期別	前期	当第2四半期
	2021年3月31日現在	2021年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	64,430	73,813
固定資産	11,951	12,111
有形固定資産	2,590	2,552
無形固定資産	170	173
投資その他の資産	9,190	9,385
資産合計	76,381	85,924
(負債の部)		
流動負債	36,372	46,203
固定負債	4,978	2,623
負債合計	41,350	48,827
(純資産の部)		
株主資本	30,802	32,119
その他の包括利益累計額	4,228	4,978
純資産合計	35,030	37,097
負債及び純資産合計	76,381	85,924

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目/期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	皇 2020年4月1日 至 2020年9月30日	皇 2021年4月1日 至 2021年9月30日
売上高	61,813	70,978
売上原価	55,093	62,229
売上総利益	6,719	8,749
販売費及び一般管理費	5,819	6,640
営業利益	900	2,108
営業外収益	200	201
営業外費用	79	115
経常利益	1,020	2,195
特別利益	7	-
特別損失	9	-
税金等調整前四半期純利益	1,019	2,195
法人税等	313	643
四半期純利益	705	1,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	705	1,551

(注)当第2四半期累計期間は「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値を記載しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目/期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
	皇 2020年4月1日 至 2020年9月30日	皇 2021年4月1日 至 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,696	3,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△71
現金及び現金同等物に係る換算差額	△104	278
現金及び現金同等物の増減額	1,454	3,579
現金及び現金同等物の期首残高	11,568	12,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,022	16,208

会社データ

会社の概要

(2021年9月30日現在)

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
設立年月日	1949年11月4日
資本金	37億2,700万円
発行済株式の総数	16,044,000株
従業員数	611名 (連結1,061名)
ホームページ	https://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

株式の状況

- 発行可能株式総数 33,380,000株
- 発行済株式の総数 16,044,000株
- 株主数 4,332名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,555,000 株	9.83 %
光通信株式会社	1,075,100	6.80
株式会社安川電機	797,280	5.04
第一生命保険株式会社	729,960	4.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	592,000	3.74
株式会社オリジン	498,000	3.15
オークマ株式会社	435,600	2.75
山田 益二郎	397,400	2.51
株式会社りそな銀行	395,160	2.49
株式会社三菱UFJ銀行	395,160	2.49

(注)「持株比率」は自己株式(237,332株)を控除して計算しております。

役員

(2021年9月30日現在)

取締役	
代表取締役会長	山 本 勢
代表取締役社長	田 中 裕 之
社長執行役員	三 根 省 一 郎
取締役専務執行役員	三 松 尾 晶 一 郎
取締役上席執行役員	三 松 尾 晶 秀 隆 一 郎
取締役上席執行役員	上 平 青 木 隆 一 郎
取締役執行役員	社 外 取 締 役 野 木 雅 一 郎
社外取締役	社 外 取 締 役 草 花 中 上
取締役(常勤監査等委員)	社 外 取 締 役 監 査 等 委 員 山 野 一 郎
社外取締役(監査等委員)	社 外 取 締 役 監 査 等 委 員 上 野 一 郎
執行役員	
上席執行役員	高 宮 賢 一 郎
執行役員	松 崎 後 木 田
執行役員	賢 一 洋 克 勝
執行役員	治 彦 一 也 幸

(2021年9月30日現在)

5. 株式の分布状況

(所有者別)

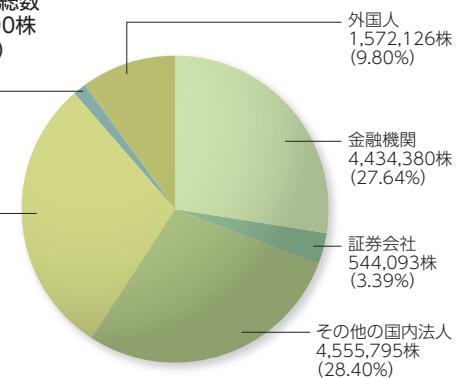
発行済株式総数
16,044,000株
(100.00%)

役員
227,812株
(1.42%)

個人・その他
4,709,794株
(29.35%)

証券会社
544,093株
(3.39%)

その他の国内法人
4,555,795株
(28.40%)



■ 事務所開設（金沢営業所）のお知らせ

当社は、このたび以下の通り金沢営業所を開設いたしました。

- 【名称】 サンワテクノス株式会社 関西支社 京都支店 金沢営業所
- 【所在地】 〒920-0869 石川県金沢市上堤町1-12 金沢南町ビルディング9階
- 【開設日】 2021年10月20日（水）
- 【お問い合わせ先】 北陸営業所 TEL：076-433-6410 FAX：076-433-6420



■ 海外子会社事務所移転（台南事務所、杭州事務所）のお知らせ

当社海外子会社において、このたび以下の通り事務所を移転いたしました。

台南事務所

- 【名称】 台湾珊華科技股份有限公司 台南事務所
SUN-WA TECHNOS (TAIWAN) CO., LTD. Tainan Office
サンワテクノス台湾 台南事務所
- 【所在地】 台湾台南市北區西門路三段159號7樓之1
7F.-1, No. 159, Sec. 3, Ximen Rd., North Dist., Tainan 704004, Taiwan, R.O.C.
TEL：(+886) 6-505-6373 FAX：(+886) 6-505-6372
※電話番号・FAX番号の変更はございません。
- 【業務開始日】 2021年4月7日（水）



杭州事務所

- 【名称】 珊華電子科技(上海)有限公司 杭州分公司
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. Hangzhou Office
上海サンワテクノス 杭州事務所
- 【所在地】 中国杭州市拱墅区金華南路355号遠洋国際中心B座505室
Room B 505, Ocean International Center Building, NO.355 jinhua South Road
Gongshu District, Hangzhou, Zhejiang 310000, P.R.C.
TEL：(+86) 571-8106-1056 FAX：(+86) 571-8106-1055
※電話番号・FAX番号の変更はございません。
- 【業務開始日】 2021年5月31日（月）



■ 個人投資家様向け会社説明会のご案内

本年度も、個人投資家様向けに会社説明会を開催いたします。
田中社長より会社概要、第10次中期経営計画「NEXT 1800」、業績、株主様への利益還元などについて説明いたします。
当社では、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。

- 2021年度開催予定：2022年3月 広島
開催日が近づきましたら、ホームページ (<https://www.sunwa.co.jp/ir/calendar>) に詳細を掲載いたします。



2020年12月仙台会場

■ IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に田中社長が出演しております。
放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第10次中期経営計画「NEXT 1800」など。
なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。
(詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。<http://www.radionikkei.jp/8137ir/>)



- ラジオNIKKEI 第1 15時30分頃～
「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」
2021年度放送日

第1回 2021年6月16日(水)終了	第2回 2021年8月4日(水)終了
第3回 2021年11月10日(水)終了	第4回 2022年2月2日(水)予定

第1～3回の放送は終了し、オンデマンドで配信中です。

■ 2021年度 サンワテクニカルセミナー'21 をオンラインで開催

当社のお取引先様に最新技術を紹介し、業界・業種の垣根を越えた交流の場をご提供する技術セミナー「サンワテクニカルセミナー'21」を2021年11月19日（金）にオンラインで開催いたしました。
本年度のテーマは、“2030カーボンニュートラル達成のために製造業が果たすこと”と題して、株式会社リコー様、Siemens Gamesa Renewable Energy 株式会社様、TDK株式会社様/TDKラムダ株式会社様よりご講演をいただきました。
今後も当社では、お客様のお役に立てる最新・最先端の技術情報をご紹介します。